

議会だより

あしや

No.219

令和5年
11月25日発行



ごみ拾いは運拾い

9月
定例会

決算特集	2P
9月定例会	4P
町政を問う一般質問	9P
議会活動報告	16P

表紙の関連記事は 18 ページに掲載しています。

決算!

こんなことに
使ったよ!



芦屋港活性化推進事業費 7804万円



令和4年度一般会計決算

総額 92億7499万円

(前年度比3億1153万円増)



バス運行事業費



9557万円



小中学校 ICT 事業費

6885万円



公民館外部改修工事

5191万円



緑ヶ丘団地外部改修工事 (9棟)

4330万円

住民の声



南 博幸さん (第2緑ヶ丘)

学校教育やバス運行事業など、ますます住みやすい町になることを期待しています。コロナ対策なども町民に寄り添った施策で非常にありがたいです。



第1分団ポンプ自動車

2519万円

決算質疑

? 決算ここは

どうなっている?



アッシーの議会豆知識

- ・ **質疑**とは
議会で審議する案件を本会議や委員会てたすこと。
- ・ **討論**とは
自分の考えに反対する議員や賛否を決めかねている議員に対し、賛同してもらうために意見を表明すること。

◆砂像屋内展示施設等設計業務委託

問 町は砂像屋内展示施設の建設を中止したが、令和4年度の設計費など町の負担額は。

答 補助金や過疎債を活用し、施設設計では320万円、広場および駐車場設計では180万円である。

問 今後、広場や駐車場の設計は活用できるのか。

答 砂像屋内展示施設に付随した設計のため活用できるか疑問だが、町としてはできる限り活用していきたい。

問 屋内展示施設の建設中止で終わらせず、当該敷地を今後どのように活用するのか。

答 来年の7月までに新たな活用方法を決定していきたい。

◆図書館の学習図鑑

芦屋町図書館にある学習図鑑はかなり古く、利用者からも更新希望の声があり、更新の計画を立てている。

問 学習図鑑更新の目安は。

答 令和4年度から3カ年で更新計画を立てている。

反対



【町の役割は

町民の福祉の増進】

川上 誠一議員

政府が進める自治体DXやマイナンバーカードは個人情報でないがしろにし、財界の利益に奉仕する危険なものであることが指摘されている。また、芦屋港レジャー港化については計画が「朝令暮改」となり、財政負担が膨らんでいる。

町の第一義的責任は「住民の福祉の増進」という姿勢を貫くことで、レジャー港化により町の福祉が後退してはならない。

賛成

【大きく飛躍したふるさと応援寄附金】

本田 浩議員

令和4年度は寄附額が1億円を超え、モーターボート競走事業収入は約11億円と、町民の安全・安心なまちづくりに大きく寄与した。また、dポタンはテレビ画面から町の最新情報を取得でき、災害発生や避難情報、生活支援などの情報も確認できるようになった。これらは町民の安全・安心をさらに充実させることにつながり、評価できる。



M.Kさん(42歳)

キャンプ場が近くにあったらな
キャンプで焼き芋

一言インタビュー
あなたの
秋の楽しみ方は?

◆がんばれ芦屋町 ふるさと応援寄附金

寄附金額が対前年度比2.78倍に増額となった。また企業版ふるさと納税も初めて1社から50万円が寄附された。

■寄附金額

(令和4年度)

1億2145万8500円

(令和3年度)

4368万5380円

問 がんばれ芦屋町ふるさと応援寄附金が大きく増えた要因は何か。

答 返礼品の「あまおういちご」への寄附が伸びたことが大きな要因である。

問 返礼品は経費含め寄附額の50%以内となっているがどうなっているのか。

答 返礼品代が30%以内、その他経費を含め50%

以内にする事となっており、2023年10月以降はさらに厳格化が行われる。

◆芦屋鋳物師後継候補者募集選定

二度の募集を行ったが、条件にかなう応募者はいなかった。

問 応募者が集まらなかった理由は何か。

答 閲覧者数の多い大手求人サイトを活用して募集したが、伝統工芸に興味のある人の目に留まらなかったことが原因と考える。

問 今年度の募集状況は。

答 今年度は伝統工芸の後継者募集に実績がある業者に委託し、5人が2次選考を受けたほか、インタビューで3人の応募者が集まった。採否結果はまだ出ていない。

◆給食センター

問 給食センターの民間委託業者が突如破綻し配送が滞るといったことが世間を騒がせているが、本町の民間委託業者は大丈夫なのか。

答 報道をみる限りでは、本町とは委託業務内容が違っている。本町業務委託は調理と配送のみであるため大丈夫ではないかと考える。

問 食材費の高騰もあり、仕入れも工夫しているとのことだが、今後給食費は値上げしていくという見解でよいのか。

答 学校教育課も給食センター審議委員会も値上げせざるを得ない考えであるが、保護者負担などは十分検討する。

賛成

「住民一人一人への支援拡充と今後のレジャー港化に期待」

萩原 洋子 議員

コロナや価格高騰対策で1人につき1万円の商品券給付など、住民一人一人に対して支援を拡充させた。

他にはタウンバスに交通系ICカードの導入、芦屋釜収蔵展示施設や山鹿公民館などの改修工事を進めた。砂屋屋内展示施設は建設を中止したが、その設計費などは補助金が活用され、来年7月までに新たな施策を検討することの期待し賛成する。



かき
牡蠣小屋に行きたい
芦屋町にあたらな



Y.Mさん(38歳)

あきさけ
秋鮭が楽しみです



S.Hさん(21歳)

正算
補予

校舎大規模改修事業など

3600万円の減額補正

補正のあった歳出の主な内容	補正額
東小学校校舎大規模改修工事請負費	—
国民宿舎特別会計繰出金	1882万円
農村整備総合事業補助金	140万円
介護保険広域連合遠賀支部移転施設改修設計費負担金	98万円
学校周年事業補助金	76万円
医療的ケア児日常生活支援事業費	36万円

※1万円未満は切り捨て。

※工事費と備品購入費は契約事項のため金額の公表を行っていません。

◆芦屋東小学校
校舎大規模改修事業

3カ年計画で行う改修の各年度経費が変更される。

問 3カ年の総額は変わりなく、各年度の経費が変わる理由は。

答 工事進捗状況に応じた支払いに改めた。

問 工事が授業に与える影響はあるか。

答 夏休みなどの休校中に行い、授業に支障がないよう配慮する。

◆放課後等デイサービス「芦屋すてっぷくらぶ」送迎車安全装置

送迎車両に置き去り事故防止安全装置を設置する。

問 どのような安全装置か。

答 エンジン停止すると車内ブザーが鳴る。運転手などが車内を見回り終わったら後方にある停止ボタンを押してブザーを止める。

もしもブザーを押さずに降車した場合は、5分以内に車外ブザーが鳴る仕組みになっている。併せて必ず2人体制で送迎を行うようにしている。



今年の秋は受験勉強をがんばります

S.Tさん(15歳)

一言インタビュー

あなたの秋の楽しみ方は？

◆国民宿舎特別会計繰出金

芦屋町から国民宿舎へ1882万円を支出した。

問 繰出金の内容は。

答 消費税の修正申告を行い、それに係る支出分で一般会計から国民宿舎会計へ繰り出しを行う。

問 修正申告の内容は。

答 特例を適用した計算で申告する必要があったが、通常収入の計算で申告をしたため、修正申告が必要となった。



反対



「今後、行政不信のないように」

妹川 征男議員

国民宿舎「マリントラス」事業で消費税還付金を余分に受け取っていたとして、5年分の約1800万円を国に返還することになっている。しかも「延滞税」として52万円も計上している。令和2年には固定資産税の徴収で約5700万円の取り過ぎが発覚し、払い戻した経緯があり、町民からひんしゆくを買った。町民に対し、納税は国民の義務であると啓発を行っている町行政がこのような不始末を行うことは、行政不信につながりあってはならない。

9月定例会で意見がわかれた議案の賛否一覧

議案の賛否を掲載しています。今定例会では15議案が上程されました。

※議長には、賛否の意思表示をする表決権がありません。

ただし、賛成・反対が同数になった場合、可否を決める裁決権があります。

○：賛成、×：反対を表しています。

議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	賛成	反対	審議結果
議案名 / 議員名	中西	田中	香田	長島	萩原	本田	松岡	具掛	妹川	辻本	川上	内海			
令和5年度芦屋町一般会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	—	10	1	可決
令和5年度芦屋町国民宿舎特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	—	10	1	可決
令和4年度芦屋町一般会計決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	—	9	2	認定
令和4年度芦屋町後期高齢者医療特別会計決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	—	9	2	認定

旅行に行って
おいしいもの
いっぱい食べたい



T.Aさん(52歳)

秋の棚田見学に
行きたいです



S.Iさん(63歳)

これまでの全天候型施設の経緯

令和3年5月	芦屋港活性化推進委員会 ※全天候型施設の活用方法が砂像屋内常設展示施設に決定した
令和4年10月	砂像屋内展示施設の設計着手
令和5年3月	芦屋港活性化推進委員会 ※砂像屋内展示施設の設計経過報告と開業時期変更（令和7年度から令和8年度に変更）の説明
令和5年5月	砂像屋内展示施設の建築概算工事費の算出

費やした金額

年度	事業費	補助金	過疎債
R2	763万6000円	381万8000円	0円
R3	385万円	192万5000円	0円
R4	2745万6000円	1072万5000円	1673万1000円
合計	3894万2000円	1646万8000円	1673万1000円

注目

どうなる、レジヤーク港!?

砂像屋内展示施設建設中止!

しかし



全員協議会で、砂像屋内展示施設の建築中止の報告があった。
今後町は、芦屋港活性化基本計画で掲げた「全天候型施設」の必要性和活用方法の再検討を行い、芦屋港活性化推進委員会で審議していくとしている。
町議会は、定例会ごとに全員協議会での説明と、閉会中の継続審査の中で所管委員会に定期的な報告を要望した。今後も町議会は注視していく。



詳しくはこちら
(広報あしや11月号)

人事

■固定資産評価委員会委員の
選任同意

現委員の任期満了に伴い、再度、塩田謙治氏を選任するもの。

その他

◆指定管理者の指定

■施設の名称

芦屋町子育て支援センター

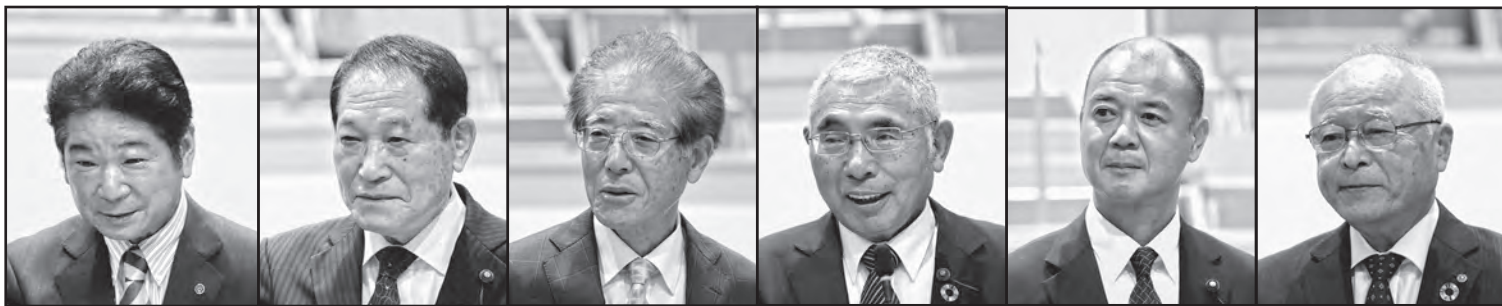
■指定する団体

社会福祉法人

長崎たちばな会

■期間

令和6年4月1日から
令和11年3月31日まで



町政を問う 一般質問



一般質問会議録

9月8日、11日に6人が一般質問を行いました。

一般質問とは、議員が町の行財政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針などの所信を聞き、報告や説明を求め、疑問点をたずねることです。

ページ	質問議員	質問事項
10	本田 浩	◎ 町民の健康づくり
11	川上 誠一	◎ 柏原漁港周辺の環境整備 ◎ 国民健康保険税の子どもの均等割り
12	松岡 泉	◎ 交通安全対策 ◎ 地域コミュニティ関係団体等の支援
13	萩原 洋子	◎ 土砂災害対策 ○ 高齢者の避難行動 ◎ 農業者支援
14	貝掛 俊之	◎ 芦屋港レジャー港化
15	妹川 征男	◎ 用悪水路の原状復旧工事 ◎ 芦屋港のレジャー港化

◎：記事掲載あり ○：記事掲載なし

議会だよりは要約しています。詳しくはホームページの会議録や録画中継でご確認ください。



本田 浩
ほんだ ひろし



録画中継

町民の健康づくり

ラジオ体操は身近な体操

健康・こども課長

健康づくりに効果的

問 町民に向けた健康づくりの施策の計画と行っていることを尋ねる。

答 第6次総合振興計画の主要施策に健康づくりの推進を掲げ、健康づくりの支援のため健康教室や家庭訪問、病気の早期発見・早期治療のため住民健診などを行っている。

問 健康でいきいきと暮らせるまちづくりに予防医療を深化・推進とあるが内容は。

答 予防医療の充実は、健康寿命延伸のため、運動教室や住民健診などを充実させることである。地域包括ケアシステムの深化・推進は、人口や世帯構成、地域社会の変化があっても高齢者が住み慣れた地域で自立した日常生活を営むことができる包括的な支援を維持し続けていくことである。

問 健康づくりにラジオ体操は身近な体操である。近年の芦屋町のラジオ体操開催状況は。

答 30自治区の中で令和4年度は10自治区、令和5年度は11自治区の開催となっている。

問 ラジオ体操の健康づくりへの効果をどう考えるか尋ねる。

答 体の仕組みを基本に考案された有酸素運動であり、世代を超えた幅広い人々の健康維持・増進に効果が期待できると考えている。

問 福岡県健康アプリにはどのような効果を期待しているのか。また、町の支援は。

答 健康管理・増進だけでなく、健康意識の向上や運動習慣の定着などの効果が期待できると考えている。令和4年度は、健康アプリのポイントで芦屋町商工会商品券が当たる独自キャンペーンを行っている。

問 芦屋町としても自治区としても、人生経験豊富な高齢者の健康づくりにさらに踏み込んで行っていくことが重要と考えるが町の見解は。

答 通いの場をコロナ禍前以上に活性化できるようにアンケートなどを行い、必要な改善を行う。高齢者が地域の人とつながり、通いの場が介護予防や健康づくりの拠点となるように、支援していきたいと考えている。



2023年ラジオ体操カード

かわかみ せいいち
川上 誠一



録画中継



柏原漁港周辺の環境整備

漁協敷地内の浸水対策は

産業観光課長

効果的対策を検討する

問 洞山の洞穴が修復されて多くの観光客が訪れている。安全に見学できるように遊歩道の設置はできないか。また、現在のトイレは老朽化し使用禁止となっている。新しいトイレや休憩のできる四阿あずまやを設置できないか。

答 提案された内容は、実施計画の中で検討を行っていく。

問 近年、漁港の敷地内にある排水のための集水桝は、集中豪雨によりオーバーフローするため敷地が水没し、頻繁に漁具倉庫が水に浸かっている。対策はどうするのか。

答 漁具倉庫は敷地内で最も低いところにあるため水が集まるのが原因と考える。対策として倉庫への止水板の設置、倉庫内の機材のかさ上げ、桝を設置し排水ポンプで排水するなど考えられる。

問 漁協敷地内の集水桝がオーバーフローする原因は、柏原地区に降った雨を集め流している側溝や暗渠あんきょ排水管的の多くが漁協の集水桝に集中していることにある。ゲリラ豪雨により、一番下流の集水桝が機能しなくなれば上流の排水にも大きな影響を与え水害も起こってくる。こうした被害に遭う漁協や当事者と話し合う場を設け、町としても支援を検討すべきでは。

答 漁協と話し合う場を設け、問題解決に向け、町としてもできる協力を行っていく。

問 遠賀川からのゴミが海岸に漂着しているが、撤去するまで時間がかかり海に流出して無くなっている。迅速な回収対策を行うべきではないか。

答 早期に着手できるように対応策を漁協と協議する。

国民健康保険税の
子どもの均等割



雨により冠水している漁具倉庫

問 国は2022年から未就学時の均等割半額補助を行っている。町が残りの半額を補助しても予算は56万4480円。一般会計の0.007%である。国が異次元の子育て支援を標榜するのであれば町も減免できないのか。

答 町独自に減免規定を設けることは困難である。

まつおか いずみ
松岡 泉

録画中継

地域コミュニティ関係団体等の支援

人づくりの専門部署は

企画政策課長

環境住宅課と企画政策課

問 地域をより良くするため
に活動する地域コミュニ
ティ関係団体の現状をどう捉え
ているのか。

答 社会状況の変化により、
役員のなり手や担い手の
不足、会員の減少などで活動が
停滞、後退している。

問 地域コミュニティへの影
響は。

答 次のような影響が生ずる
可能性がある。①孤立感
を抱き、社会的なつながりを失
う。②地域の目がなくなるため
犯罪が増える可能性がある。③
災害時における共助など適切な
対応ができなくなる。

問 多くの他自治体が趣味や
特技を生かして活動する
グループに対する協働事業提案
制度を設け、担い手の発掘・確
保に努めているが、この制度の
導入の考えは。

答 町には、類似している人

材育成補助金制度があるが、近
年は利用がない状況である。利
用しやすくなるよう要綱の見直
しの検討を行っている。

問 担い手を確保するための
仕組みづくりや活躍しや
すい場をつくるためには、行政
の中に旗振り役が必要では。

答 住民との協働に関する専
門部署は検討しているところ
であるが、現時点では環境
住宅課と企画政策課となる。

交通安全対策

問 交通安全に関わる施設整
備の要望は、どのように
措置されているのか。

答 施設整備の要望は自治区か
ら地域要望書を環境住宅課
へ提出し、それぞれの関係機関
などに協議要請を行っている。

問 町は交通安全推進協議会
設置条例に基づき、関係

機関に対して必要な措置を要請
することができるようになって
いる。協議会にはその関係機関
も参加している状況下で適切な
要望が行えるのか。

答 交通安全対策の案件や時
期によっては協議会に諮
らず、個別に協議要請を行う。



子どもと車の接触があった粟屋公民館前

問 要望を行っても実現でき
ない場合の町としての姿
勢はどうあるべきか。

答 要望を継続していくこと
で、地元や町から交通事
故をなくしたいという熱意を伝
えていくことが大切である。

注1 地域コミュニティ団体…自治区や
PTA、老人クラブなどの諸団体のこと。

萩原 洋子



録画中継



土砂災害対策

城山公園の災害対策は

産業観光課長

調査の実施を考えている

問 山鹿地区の土砂災害警戒区域は。

答 城山付近の斜面、法輪寺、須賀神社付近の斜面、山鹿小学校横や山鹿貝塚周辺の丘陵地、はまゆう区の斜面沿い、後水住宅から県営住宅の斜面、江川台の斜面、江川台から高須に抜ける斜面、花美坂の6街区、21街区などである。

問 町の土砂災害対策は。

答 看板設置やハザードマップ、個別受信機、町のホームページ、ライン、dボタン、防災メールを活用し、早めの避難を呼びかけている。民有地などは町が対策できないため、ハザードマップなどで避難経路を確認してもらい、早期の避難の呼びかけなど対応していきたい。

問 防災白書のハザードマップ認知度調査によると、

ハザードマップを見たことがない人は16・4%しか避難していない。

ない。住民の正しい避難行動や知識を深めるための対策は。

答 いろいろな所に出向き、その重要性を説明したい。

問 城山公園の山鹿唐戸の交差点付近は崖崩れの不安がある。この場所は調査していないため、早急に対策が必要では。

答 城山公園周辺の老朽箇所や危険箇所など、今後調査の実施を考え、実施計画に計上する予定としている。その場所も調査対象箇所とし、調査実施後必要に応じた対策を講じる。



山鹿唐戸側の城山公園

農業者支援

問 昨年の定例会で町は、求められる支援策を検討すると言ったが、その後の農業者支援はどうなっているのか。

答 高額な機械購入時、町独自で上乗せの支援を行い、購入時の負担軽減を図っている。今年の12月～1月にアンケート調査を行い、ニーズに沿った支援策などを引き続き検討していきたい。

問 鳥獣害対策は。

答 イノシシ対策は猟友会のパトロール強化や箱わなの設置、色付きテープで畑を囲むといった対策で効果を確認している。カモ対策は試験的に川や用水路に糸を張ってカモの着水を防ぎ、あぜ道の入り口に注意喚起を促すものを設置するなど、今後も鳥獣害対策の調査研究に努める。

かいかけとしゆき
貝掛俊之

録画中継



芦屋港レジャー港化

住民が享受できる整備を

町長

目指すところである

問

レジャー港化の大きな柱である砂像展示施設建設に、これまで約3900万円費やされている。今年度予算には約4300万円計上されており、国からの補助金として4億5000万円が交付決定していた。今回、議会へ報告もななく国へ補助金の取り消しに行っているが、これは100%建設を中止すると言うことである。このような決定は議会に事前に協議するべきではなかったか。間接民主主義では、議員は住民何百人もの負託を受けて議場に立っている。議員には責任がある。

執行部が予算編成を行い政策提案する。その提案の最終意思決定機関が議会であり、町の方向性を決めていく責任がある。その方向性を大きく左右する肝心な案件は議会としっかり協議し、合意形成を図っていくべきではないか。

答

議員の言ったことは真に正当なことであるが、砂像展示施設建設の中止は苦渋の決断であったことは理解していただきたい。従来より推進本部、推進委員会で承認を得て議会へ報告することとしている。今後レジャー港化において大きな変更がある場合は早急にお知らせするとともに、不都合なことがあれば進言していただきたい。議会、執行部両輪で芦屋町の活性化に取り組んでいかななくてはならないので、ご協力をお願いする。



砂像展示施設建設予定地だった空き地

問

レジャー港化事業では、既存のエリアだけではなく、望海団地、中央病院跡地も含めた一体的な開発を進めいく考えはあるか。

答

望海団地と中央病院跡地は一体的な開発によって、眺望、空間定期連続性が確保されるため活用に適した形状になると分析されている。本年度行うサウンディング調査の結果、^{注1}レジャー港化の進捗状況、住民議会の意見を踏まえて検討していく。

問

レジャー港化事業では、人を呼び込む政策も必要であるが、より多くの住民ができて良かったと思う施設や環境整備を行っていただきたいと考えるが見解は。

答

ただ人が来て帰るだけでは活性化につながらない。議員が言ったことが目指すところである。

注1 サウンディング調査… 町有地などの活用方法について公募により民間事業者から広く意見や提案を求める調査のこと。



用悪水路の原状復旧工事

隣接地主としての認識は

町長

民と民の問題である

問 令和3年4月、町内の農業用水路が町に無断で埋め立てられていたことが判明した。町は官と民として捉え、許可なく埋め立てた某建設業者に原状復旧を求めるとして「工事施行承認申請書」を6度にわたって提出させ、町長はその都度「工事施行許可書」を发出した。しかし、水路は今でも土砂で埋められたままである。許可書の法的根拠は。

答 芦屋町有財産取扱規則に基づいて事務を行っているが、工事施行許可に関する規定はない。道路法第24条（道路管理者以外の者の行う工事）を参考にした。

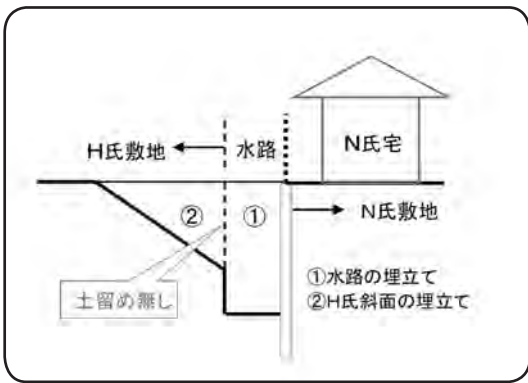
問 道路法を持ち出すなど矛盾している。さらに言うと、工事施行計画書などの書類が一切ない工事申請である。完成図もなく、ずさんな内容である。申請書どおりに掘削すればそこは約2メートル近い深さの溝と

なり、安全対策もなく危険だ。許可するに値しない申請だ。深い溝ができることを避けるためには、隣接するH氏の土地をもとの斜面に戻してもらうことが必要。町長は隣接地の地主として、どのように認識しているか。

答 「H氏の土地」というのは、私の土地だ。「H氏」などと、わざわざ思わせぶりに言わなくてもよい。あくまで「民と民」の話。民と民が話をしてこなくなっているからと業者に頼めばよい。なぜこのように複雑になるのか、不思議でならない。

問 レジャー港化計画を疑問視し、これまで予算議案に反対してきた。身の丈に合わない大型プロジェクトであり、多大な税金を費やすと判断したからである。さらにはレジャー港化の舞台となる芦屋海岸が荒れ放題になっていることすら解決できない状況では失敗すると忠告をしてきた。全天候施設の概算費用は、4億から25億と6倍に膨らんだが、レジャー港化計画のもうひとつの柱である上屋の整備費用は。

答 令和4年5月に試算した数値は、利活用の場合、建築改修費用は約4億円。解体して新規に延床面積1400㎡程度木造で建物を建築する場合、約3億2000万円。この金額は当時の概算費用である。物価高騰などにより、実際の費用が増額となる可能性は十分にある。



水路断面図

芦屋港のレジャー港化

行政視察

日程：8月21日（月）～23日（水）

視察先：神奈川県寒川町、航空科学博物館ほか

視察者：辻本一夫、貝掛俊之、長島毅、香田一之、田中太

議会改革の取り組みと執行部への提言

■議会改革への取り組み（寒川町議会）

会派制を導入しており、議員間討議を重ねながら計画的に取り組まれています。政策提言力の向上を目指した取り組みやオープントークカフェ、関係団体との意見交換などわが芦屋町においても実現化ができるものだと感じ、今後活かすことができると感じました。



寒川町議会

■航空科学博物館（芝山町）

成田空港を離着陸する飛行機の航路真下に位置する博物館。空港の建設が計画されてから開港に至るまでの地域と空港をめぐる歴史を後世に伝えることを目的とした常設展示施設で、展示室からは空港を離発着する飛行機を間近にみることでレジャー港開発の参考になりました。



航空科学博物館

議会広報 委員会視察

日程：9月26日（火）～28日（木）

視察先：群馬県榛東村議会、愛知県東浦町議会

視察者：長島毅、貝掛俊之、本田浩、萩原洋子、香田一之、田中太

読みやすい議会だよりを目指して

芦屋町広報委員会は東京都内で開催された議会広報研修会に参加し、議会だより作成にあたっての法律知識や広報誌の基礎講座およびデザイン講座を受講しました。

また、先進自治体の議会だより作成を学ぶため榛東村議会と東浦町議会を視察先に選び、意見交換を行いました。



榛東村議会



東浦町議会

議会だより作成の改善ポイントに焦点をあて、同じ広報に携わる議員からアドバイスを受け、参考になりました。さらに読みやすい議会だよりの作成作業の効率化と正確性の向上に取り組みたいです。

遠賀郡 議員研修会

日程：10月16日（月）

場所：おんがみらいテラス

参加者：内海猛年、中西智昭、川上誠一、辻本一夫、貝掛俊之
松岡泉、本田浩、萩原洋子、長島毅、香田一之、田中太

選ばれた者の大変さと誇り

遠賀郡議員研修会が開催され、大分県佐伯市鷹鳥屋神社宮司の矢野大和様をお招きし、「笑って元気～選ばれた者の大変さと誇り」との演題で笑顔溢れる講演をいただきました。

講演は、日本がこれほどまでに早く戦後復興を遂げたことや、日本人のモラルの素晴らしさを笑いを交えて講演されました。また、日本人は自然崇拜の信仰があり「お天道様が見ている」という

道徳の概念があり、このことがどの宗教も寛容に受け入れているとお話しされていました。つまり、選ばれし者とは私たち日本人であり、宗教間での争いが絶えない世界において、世界平和をリードしていくことは大変なことだが、歴史認識を踏まえて誇りを持って欲しいというメッセージであり、今後の議員活動に活かしていきたいと思いました。



議会を傍聴しませんか！

議会傍聴は、町民が町政に参加する機会のひとつです。ぜひお越しください。

**次回の定例会は
12月7日開会予定**

詳細は議会事務局にお問い合わせください。
TEL 093-223-3927

議会録画中継配信中

詳しくは、芦屋町ホームページをご覧ください。なお、配信は本会議終了から7日後（土日祝日のぞく）になります。



録画中継で見た表決の様子



録画中継ページ

議会の活動を報告します

親睦スポーツ大会

9月20日（水）

職員執行部と議会で親睦スポーツ大会を行いました。灼熱の体育館の中、議会チーム・執行部Aチーム・Bチームに分かれ『ドッジビー』で戦いをくりひろげました。ドッジビーとは怪我が少なく、短時間で運動量を確保できる種目で、小学校での授業にも取り入れられています。結果は、執行部Bチームが優勝！みんな笑顔で、大汗かきながら体を動かしました。



町かどインタビュー



中学生が清掃活動しよるっちゃ！
芦屋中学校の剣道部が、朝早くに集合してごみを拾い、きれいな町づくりに寄与してくれようっちゃ。そこで芦中剣士たちにインタビューしてきたっちゃ！！

頑強な身体・健やかな心・崇高な精神

剣道部の

生徒に聞いた！

Q 中学校生活はどうですか。

A 芦屋中学校は、生徒と先生みんな仲が良く、とても楽しいです。トイレもきれいで、体育館やグラウンドも広く、教室は冷暖房完備です。黒板ではなく、ホワイトボードにプロジェクトから画像が映し出されるなどの、わかりやすい授業があげられています。

Q 朝の清掃活動を行うことはどう思いますか。

A ごみ拾い（運拾い）をする中で気がついたことは、タバコの吸い殻と空き缶、ペットボトルの多さです。また、清掃を始めると、今まで気にしなかったごみが気になるようになり、普段からこまめにごみ拾いをするようになりました。

Q 中学生にとって芦屋町はどんなところですか。

A 朝から地域の皆さんに大きな声であいさつをしていただき、ぼくたちの方が元気をいただいています。感謝しています。また、きれいな海があつて、新鮮な海の幸がとってもおいしいです。花火大会やアクアシアンのプール、航空祭、砂像展もみんなに自慢できるものの一つです。マリンテラスあしやから望める景色も最高です。



芦屋中学校剣道部

剣道部の

今川先生に聞いた！

Q 朝の清掃活動を始めたきっかけは。

A いつも地域の皆さんから応援していただいているので、少しでも恩返しをしたいというのがきっかけです。朝、地域の皆さんと笑顔であいさつを交わすことができ、とてもうれしいです。町がきれいになると心もスッキリし、すがすがしい気持ちになります。改めて、ごみ拾いができることに喜びを感じています。



今川先生

編集後記

議員を続けていると、自ずと行政の情報や知識が身についてくるわけでありますが、この「知っている」ということを当たり前と考えて情報を発信すると、住民の皆さんにはなかなか伝わりにくい広報紙になっていくわけで、やはり、広報に携わる者として今一度、議員になる前の住民の一人として自分をリセットする。このことが大切であり、すべての議員活動においてもしかるべきであると考えます。

貝掛 俊之

【発行責任者】

議長 内海 猛年

【議会広報常任委員会】

委員長 長島 毅

副委員長 貝掛 俊之

委員 本田 浩

委員 萩原 洋子

委員 香田 一之

委員 田中 太